SS 研会員見学＆意見交換会（国立天文台）実施報告

■意見交換会

・開催日時 ： 2016 年 3 月 23 日(水) 意見交換会 14:30～17:20、懇親会 17:30～18:30
・場所：国立天文台（三鷹キャンパス）コスモス会館　会議室
・テーマ ：「国立天文台におけるビジュアライゼーションの世界」
・プログラム ：
　1) 開会挨拶・国立天文台ご紹介　水本好彦（国立天文台）
　2) 4D2U の紹介とコンテンツ制作について　福士比奈子（国立天文台）
　3) 4D2U(4 次元デジタル宇宙シアター)上映
　4) 意見交換　「ビジュアライゼーションへの取組み」　縣 秀彦（国立天文台）
　　※4D2U (4-Dimensional Digital Universe)
・参加実績 ：
　合計 13 名（会員 9 名[5 機関]、会員以外 3 名[3 機関]、富士通 1 名）
・アンケート集計結果:総合評価 5.0

●実施概要

国立天文台正門

コスモス会館入口

会場風景

国立天文台４次元デジタル宇宙プロジェクト（4D2U プロジェクト）について
http://4d2u.nao.ac.jp/t/index.html

・国立天文台 4D2U プロジェクトがこれまで作成した 3D コンテンツは、多くの教育現場、天文普及の現場で用いられ、直感的な宇宙の理解を助ける重要なツールとなっている。
・4D2U での天文学データの可視化は、専門家・非専門家問わず、研究成果を分かりやすくかつインパクトをもって伝えるための有効な手段である。
・今後の 4D2U は、ドームシアターのシステム更新とともにコンテンツの充実、Mitaka の最新天文学データへの対応をし、最新の宇宙像をすべての人に届けることを目標としている。
・Mitaka が目指すものは、可能な限り最新の観測データや理論的なモデルを使って科学に基づいた最新の宇宙像を見せることである。

意見交換　「ビジュアライゼーションへの取組み」

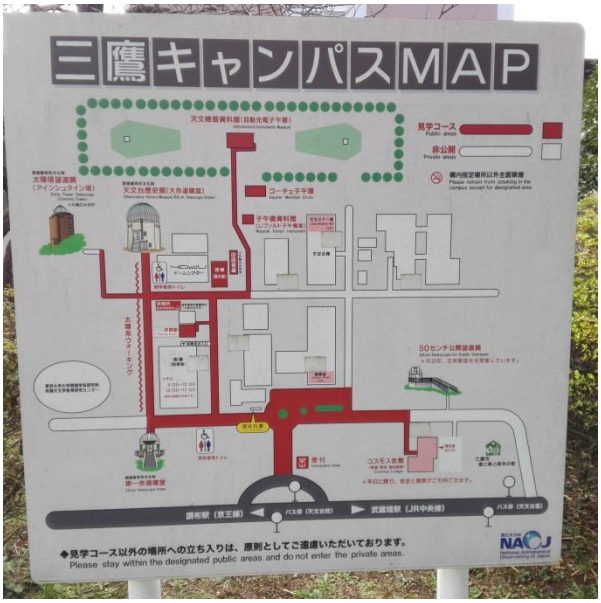
・コンテンツ作成の内容では、良く工夫されていると思った。4D2U 上映では、素晴らしいコンテンツなので驚いた。アウトリーチに非常に効果があると思ったので、是非、他機関とも協力してアウトリーチの重要性を国に訴えていきたい。
・広報活動として、とても意味のある活動だと思った。今後の方向性として、何を考えているか。
　→今後の方向性として、VR(仮想現実)を検討している。
・これだけのコンテンツがあると言うことと、これからも作り続けて行けるというのがすごい。同じようなことを実現していきたい。
・このようなコンテンツを作成する人材が今後も必要である。インターンシップなどで人材育成を考えているので、　是非この分野での人材育成に協力していただきたい。
　→科学的知識を持ったコンテンツクリエーターの人材が不足している。
・この可視化技術を学生に勧めたいが、就職先が難しいので、うまく回せる仕組みが必要だと考える。
・映像は本当にキレイであった。また、天文台が可視化技術に対する思いを強く感じた。

■会員見学会

・開催日時 ： 2016 年 3 月 28 日(月) 会員見学会 14:30～17:30
・場所：国立天文台（三鷹キャンパス）中央棟東　輪講室
・プログラム ：
　1）開会挨拶　水本好彦（国立天文台）
　2）国立天文台のご紹介と施設見学　中桐 正夫（国立天文台）
・参加実績 ：
　合計 6 名（会員 3 名[3 機関]、会員以外 3 名[3 機関]）
・アンケート集計結果:総合評価 5.0

●実施概要

国立天文台



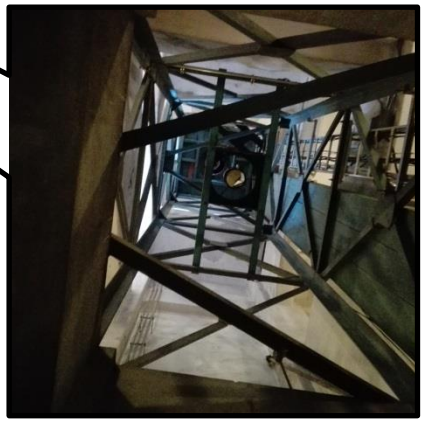
三鷹キャンパス MAP

三鷹キャンパスは、約 26 万平方メートル！！　とても広くて緑も多く、健康にもとても良い 1 日でした。

さて、今回の説明員は、天文情報センター　特別客員研究員　中桐 正夫 さんです。
国立天文台の三鷹キャンパスにある展示物はもとより、国立天文台のことは何を聞いても立ち所に答えていただける生き字引的存在でした！！

天文情報センター　特別客員研究員　中桐 正夫 さん

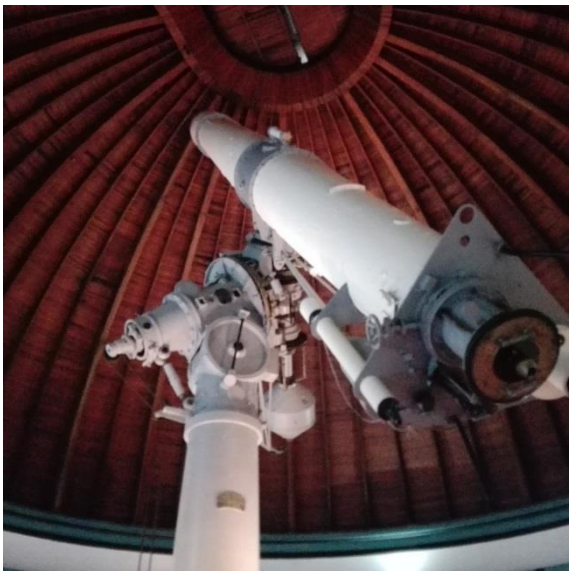
中桐さんの話を熱心に聞く参加者



太陽塔望遠鏡(アインシュタイン塔)

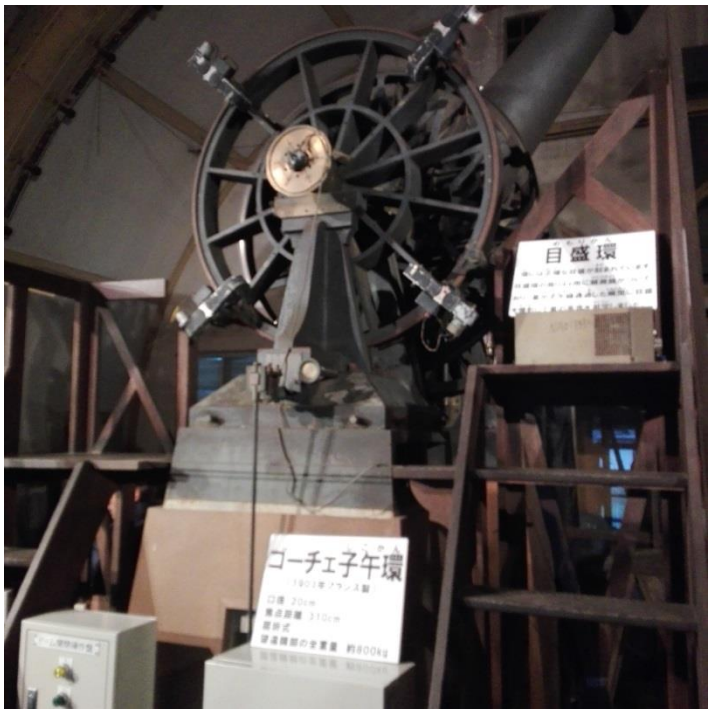
普段は中に入れませんが、今回は特別に見学させていただきました。
これこそがSS研会員限定イベント。この塔全体が望遠鏡の筒の役割を果たしていることから「塔望遠鏡」と呼ばれています。

天文台歴史館（大赤道儀室）



65cm屈折望遠鏡

ドーム内にある屈折望遠鏡は、ドイツのツァイス製で屈折型の望遠鏡としては日本最大口径を誇っています。
この建物は、2002年2月に国の登録有形文化財になったそうです。



ゴーチェ子午環

子午環は、子午線上の天体の位置（赤経と赤緯）を精密に観測できるように工夫された望遠鏡です。そのため、子午線面内（南北方向）でのみ正確に回転する仕組みになっています。

残念ながら、3 月 28 日は、
桜は 3～5 分咲き程度でした。

最後に中桐さんへ、お忙しい中、ご説明いただき、有り難うございました。
太陽塔望遠鏡、天文機器資料館などの建物内に、たくさんの望遠鏡が保有されていましたが、中桐さんが日本はもとより、海外に自ら足を運び、収集した望遠鏡でした。その熱意（パワー）が、今回の熱い語り（説明）につながっているのだと感じました。SS 研イベントに参加することで、普段では聞けない興味深い裏話も聞けますので、この実施報告をお読みいただいた方々は、次回イベントに是非ご参加ください！！　　お待ちしております！！

各建物内にある望遠鏡の数々（別名、中桐博物館内の望遠鏡の数々）

以　上